

「日本におけるケミカルバイオロジー研究新展開」に関する研究開発専門委員会

第4回運営事務打ち合せ（幹事会） 議事録（案）

日 時 平成 25 年 2 月 12 日 13 時 30 分～14 時 30 分
場 所 東京国際フォーラム ガラス棟 506 室
出席者 浅見忠男、味戸慶一、穴澤秀治、上村大輔、長田裕之、斎藤臣雄、春山英幸、
矢守隆夫、吉村巧（50 音順、敬称略）
欠席者 遠藤正志、菅裕明（50 音順、敬称略）

(1) 第 3 回幹事会の議事録確認

(2) 当委員会のホームページ公開について

(3) 外部講演者候補について（以下、敬称略）

構造生物学テーマ

沈 建仁、神谷 信夫（光合成）、月原 富武（超分子複合体）、岩田 想（GPCR）
静岡ファーマバレー、がんセンター ～ 静岡県立大・浅井章良
パートナーシップ、オープンイノベーション ～ 東大・長野哲雄、理研・後藤俊夫
化合物ライブラリー ～ 創薬（東大）、ケミカルバイオロジー（理研）
国立医薬品食品衛生研究所 菅野 純

トキシコゲノミクス、毒物プロファイル評価、ミルフィーユデータ
化合物構造 - 毒性相関データベース ～ NITE・櫻井

～ 安全性評価センター・林 真 センター長

アトピー性皮膚炎（Unmet Medical Needs）～ 微化研沼津・川田学
～ 筑波大・柳沢／東レ基礎研・長瀬博（ κ レセプター）

農薬関連（ケミストリー、植物生理）～ 名古屋大学・伊丹健一郎 <WPI>
～トランスフォーマブル・モレキュール

食品会社 ～ ケミカルバイオロジー ～ 付加価値、廃物利用

花卉 ～ 切り花の持ちをよくする（Ag⁺、銀酒石酸塩） <化学と工業>
百合の香りを軽減する（アミノトランスフェラーゼ）

歯科 ～ バイオフィルム ～ ライオン（株）

疾患メカニズムが分かりやすい疾患 ～ 薬が開発されやすい

未知因子、複数因子の疾患、原因不明 ～ 新しいメディカルニーズ

“かゆみ”のモデル、“かゆみ”の原因は不明、痒みと痛み

4、5月に第5回委員会 ～ 外部講演者を依頼

穴澤副委員長から推薦のあった NITE 研究者（微生物の遺伝子資源）の講演

～放線菌学会の勉強会（年2回）とジョイント～ 委員会の後、公開の講演会

(4) H24 年度成果報告書の作成について

～各会の発表原稿・スライド、説明文を収録（ホームページの内容）

提言 ～ 公開シンポジウムで一般に活動を周知

海外のケミカルバイオロジーの動向 アジア～上杉、欧米～長田

(5) 合成生物学 (Synthetic Biology) ～ 穴澤副委員長

遺伝子組み換え技術によるものづくり ～ 規制する必要があるか

OECD 昨年 2 月にレポート ～

細胞ライブラリー ～ 細胞の標準化、化合物に対する応答、分化

(6) 研究開発専門委員会終了後の後継委員会について

企業中心の委員会、企業委員からの協賛金、JSPS とのマッチングファンド

(7) アジア ～ 中国・インドの動向

インドへの興味が拡大 ～ 受託合成、創造力

マーケットとして ～ 経済の伸びが停滞

以上